

<タイプ1>

- ・偉人の話がとても面白かった。岡本太郎が好きなので色々調べられました。渋谷で展示会があったので行ってきました。
- ・今、現在、第一線で活動している偉人について知りたいです。今が知りたい。
- ・夏目漱石を図解した。道楽の意味が分からなかったのが難しかった。
- ・個人的に志賀直哉を図解してみたが、小説家として全てを注いだのを知ることが出来た。

<タイプ2>

- ・岡本太郎を図解した。楽しく書くことができた。
- ・論文を図解にするよりも難しかったです。
- ・前より図解は好きになってきました。
- ・武者小路実篤を図解してみたが情報が多く上手くまとめることができなかった。
- ・ピカソについて書けた
- ・岡本太郎について深く知ることができた。作品を作るまでにこのような発言があったのか！と学ぶことができた。
- ・これからも図にする時間を作って欲しい。
- ・明治維新の偉人達についてもやってみてみたい。
- ・実績しか書けないというのは情報が少なくなってしまうと思った。

<タイプ3>

- ・歴史上の人物で図解を書くのは難しかった。
- ・正岡子規が野球の名付け親だったとは知らなかった。
- ・高村光太郎のことを図にした。彫刻家でありながら詩人としての顔もある。視点の一つにせず広げることによって別の世界も見えるのだと思った。
- ・高村光太郎は内容の濃い文だったので、とてもやりがいがあった。
- ・次は海外の偉人にふれてみたい。
- ・ピカソを図解した。ピカソについて深く知れた。
- ・世界の様々な偉人の話、特にピカソの話がとても興味深かった。
- ・たまには外人も紹介してもらいたい。途中で鍵を開けるシステムはいいと思うし、作業の時間もいつもより静かであった。

<タイプ4>

- ・正岡子が規野球の言葉を考えたのはすごいと思いました。
- ・先生が作った具体例を出して欲しい。図が単調なものになってしまう。
- ・草野心平さんに感銘を受けた。ゴッホという高い目標を掲げた所、世界で有名な人物になってしまったとは素晴らしいと思う。
- ・先生の偉人の話はいつもおもしろいと思う。
- ・上野の子規記念球場は、普通の野球球場だった。
- ・正岡子規の「子規」にホトギスの意味、ホトギスは血をはいてまで泣いているという意味。そのような意味があったことに驚いた。「子規」は病気になってから名付けたのであろうか。
- ・色々な名人は絶対に挫折していると思った。
- ・岩崎弥太郎がすごいと思った。
- ・周りがうるさくて集中できなかった。うるさい人は追い出してほしい。ピカソについて書いた。
- ・岡本太郎は凄い人だけど、一つ一つが人間の持ちえる感情であり、一人の人間であったのだと思った。

<タイプ6>

- ・正岡子規の子規庵に行ってみてみたい。
- ・図解はとても楽しい。
- ・文章量が多い方が図解にしやすい。
- ・岡本太郎は難しかった。
- ・正岡子規が野球を名付けたことは、小学校の時に習った気がする。
- ・社説や人物などによって、向いている図解などはあるのですか？
- ・草野心平を図解してみた。中々難しかった。
- ・岡本太郎の図を書こうとしたが、つながりがばらばらで、うまくまとめあげることが出来なかった。
- ・正岡子規を図解した。野球と名を付けたことは知っていたが他のことは知らなかったのが、詳しくなることができた。

<タイプ5>

- ・ピカソを選び図解を書いた。
- ・岡本太郎の図解をしたが難しかった。
- ・ピカソの「私の絵画は、完成されてようがそうでなかりうが、私の日記の頁のようなもので、日記としてのみ価値があるんだ」という言葉に感動した。
- ・武者小路実篤を選び図解を書いてみた。情報の整理をしっかりと行ってから取り組みたいと思います。
- ・正岡子規がベースボールを野球と訳したことを知った。
- ・草野心平を図解した。彼の生涯は興味深かった。居酒屋で働いてるのでメニューの名前は興味があった。
- ・偉人同士の意外なつながりは興味深く思う。その中でも草野心平は友達も多く、人間関係によって詩人として大成したのだと思った。
- ・高村光太郎を図解し、より詳しく知ってみたいと思った。
- ・図解の自分のうでをもっと上げたいと思った。
- ・岡本太郎やピカソの作品というのは世間でとても価値が高いが、見る人の興味で価値観が変わる。
- ・武者小路実篤は、「新しき村」運動を通じ、本当に武者みたいだなあと感じた。
- ・毎日書く練習をしなければ駄目なのだと感じた。
- ・図解ができるようになり、偉人の詳しいことが分かり、興味が持てるようになった。
- ・武者小路実篤について書いたが、とても大きな才能の持ち主だと思った。先生の載っている雑誌を読んでみます。
- ・細川護熙の話はとても興味深いものだった。是非本を手にとってみたい。こういった人物伝は知れば知るほど面白いので、これからは紹介された人物について本を読みたい。正岡子規は詩人であるとしか知らず、「野球」の名付け親であったとは驚きであった。
- ・正岡子規の子規が、「ホトギス」という意味だということを初めて知った。
- ・草野心平の「わだばゴッホになる」が気に入った。
- ・中身の濃い図解にするにはどうしたらよいでしょうか？今日は先生が注意してくれたので静かに授業を受けることができました。

<タイプ7>

- ・偉人の話を聞いていると、やはり努力が必要だなと思った。ピカソの事を知り、いろいろな人と関わって成長していくのだなと思った。作品も観てみたい。
- ・高村光太郎の図を書いた。
- ・偉人には必ず一つの信念があると思った。
- ・定期的に図解をしていないとやり方を忘れてしまいそうなので、他の講義の際にも図解を利用していきたい。
- ・武者小路実篤を図解した。とても有意義で価値のある人生だったのではないかと思った。
- ・武者小路実篤の事を分析することで、その人の思想ややりとげた事が分かり、興味を持てた。

<タイプ8>

- ・夏目漱石は「ころ」や「ぼっちゃん」といった小説家のイメージしかなかったが、近未来の予知と似たような教を説く人でもあったことに驚いた。
- ・一人の自伝についてよく理解した作品にこのような思いがあるということが以外であった。

<タイプ9>

- ・岡本太郎を図解した。「やろうとしないからやれないんだ。それだけのことだ。」という名言は心に残りました。
- ・志賀直哉は高校の現代文の授業で読んだが、日本の誇りだと思う。
- ・夏目漱石の「職業と道楽」を読んでみて、自分は無理に道楽と職業を一致させようとしていたのだが、お金も欲しいので、まず職業を熱心に励むことから始めようと思った。
- ・ピカソを書いた。キーワードを探しながら文章を読んでも内容が残りやすくて助かる。
- ・今までの講義で、美術に少し興味がわきました。岡本太郎の図を書いたのは、家の近くに美術館があり何度も足を運んでいるのですが、もっと詳しく知りたいと思ったからです。家の近くに岡本太郎さんの美術館があるのはほこりだと思いました。
- ・野球を紹介したのが正岡子規だった、ブログの最初の人だったことを初めて知った。
- ・武者小路実篤を図解した。「60歳まで健全でいたら必ず何かしてみせる。何かいして見せるといふのは、一つの武者主義をつくってみせるといふことである。」という言葉はすごいと思った。
- ・岡本太郎の生き方、発した名言、作品、すべてに興味をそそる。
- ・一生を図解しようとするとう年表のようになります。

<タイプ???>

- ・岡本太郎を図解したが、考え方が自分では思いつかなく、芸術を認められるのではなく、理解を拒絶してここまでできているのが、自分の考え方が一般的すぎるのかなと思った。
- ・岡本太郎の太陽の塔は知っていたが、大阪万博をプロデュースしたのは始めて知った。
- ・武者小路実篤の人生に興味を持ち始めた。
- ・高村光太郎に興味湧いた。
- ・昔ピカソ展に行ったことがあるので、図解しながら色々思い出すことができた。
- ・夏目漱石を図解した。どの時代も仕事と趣味の両立は難しいと思った。
- ・夏目漱石の時代にも、職業学という現代のキャリアデザインに似た講座があるのは驚いた。
- ・岡本太郎のお話は面白かった。高村光太郎の図を書いたのですが、うまくまとめられなくて苦戦しました。あと10回無い先生の授業で図解をマスターしたいです。
- ・高村光太郎の詩の中に、心打たれた昔みた詩があって、この人が作ったものだったのかとびっくりした。芸術家の多くの自由さと行動力、独創的さに憧れます。
- ・今回はとても長文なので、ポイントを探すのが大変でした。
- ・図の基礎が書いてあるプリントが欲しい。
- ・岡本太郎についてもっと知りたくくなりました。
- ・今回の図解は高村智恵子さんを図解で書きます。
- ・正岡子規の日記が本になったと聞いて、人は昔から「自分のしたこと(日常など)を書き残そう」「記して、記憶をアウトプットして残しておこう」と考えていたのだな。と思いました。やはり、昔の人のことを学び、考えることは本当におもしろいことなのだ改めて感じました。
- ・ピカソや志賀直哉などの資料に、生い立ちが書いてなかったので図解にしにくかった。
- ・漱石の職業感は、生活の安定しない作家だけあって、説得力がある。
- ・岡本太郎について図を書いて、太郎のエネルギーを感じる事ができた。
- ・図の例を少し見たかった。
- ・当たり前だが、偉人は偉人だから偉人なのだと思います。少しでも彼らに近づきたいものだ。